

基本的な考え方

富士フィルムグループの創業の原点といえる写真フィルムは、製造時に「大量で清浄な水と空気」が不可欠であり、また、撮影前に試すことができない「信頼を買っていただく商品」であることから、環境保全、ステークホルダーからの信頼は当社ビジネスにとっての大前提という考え方が、事業活動の根底にあります。これが富士フィルムのCSR(企業の社会的責任)の原点であり、DNAとなっています。

富士フィルムグループのCSRの考え方

富士フィルムグループの考えるCSRとは、誠実かつ公正な事業活動を通じて企業理念を实践することにより、社会の持続可能な発展に貢献することです。

わたしたちは、経済的・法的責任を果たすことはもとより、

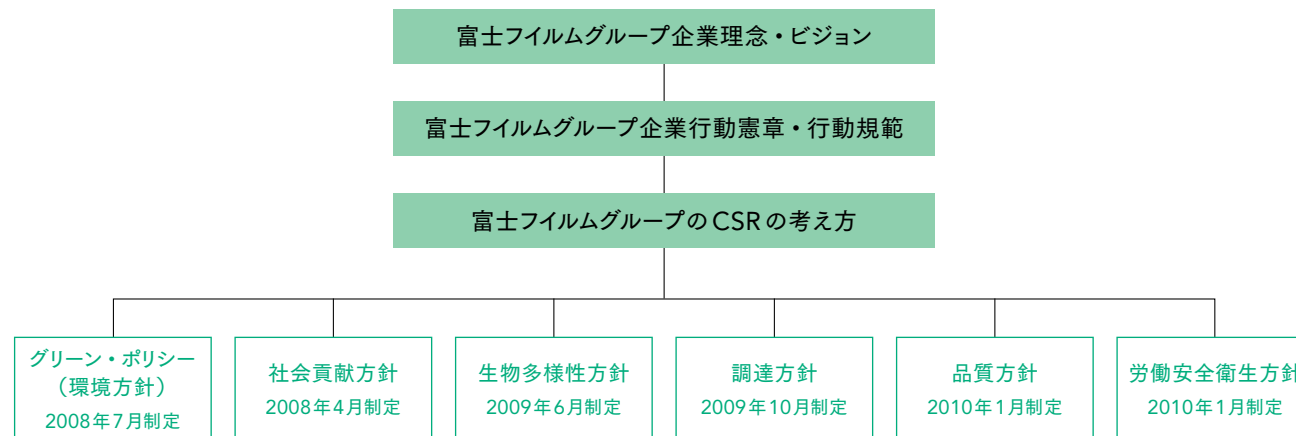
1. グローバル及び地域の様々な環境・社会課題を認識し、事業活動を通してその解決に向けた価値を提供していきます。
2. 私たちの事業プロセスが環境・社会に与える影響を常に評価し、その継続的な改善を進めるとともに、社会にポジティブな影響を広めていきます。
3. ステークホルダーとのコミュニケーションを通して、社会の要請や期待に適切に応えているか、私たちの活動を常に見直していきます。
4. 積極的に情報開示を進め、企業の透明性を高めます。

富士フィルムグループは、持株会社体制となった2006年に企業理念、ビジョンを制定、またその精神をベースとした全グループ会社に適用する企業行動憲章、行動規範を定め、グループ全社で徹底しています。企業行動憲章では、人権尊重を含む5つの原則を掲げています。また行動規範においては、コンプライアンスを「法律に違反しないということだけではなく、常識や倫理に照らして正しい行動を行うこと」と定義し、トップを含む全従業員がこれらに沿った行動を实践する宣言をしています。

さらに富士フィルムグループの全従業員が日々の業務の中でCSRを意識し実践できるよう、「誠実かつ公正な事業活動を通じて企業理念を实践することにより、社会の持続可能な発展に貢献する」という、「CSRの考え方」を明確にしています。

80周年を機に新たに制定されたコーポレートスローガン「Value from Innovation」のもと、社会課題を認識し、より積極的にその課題解決に貢献していくことを示すため、2013年度に「CSRの考え方」を改定しました。これに従い、さらに活動を推進していきます。

富士フィルムグループのCSR各種方針

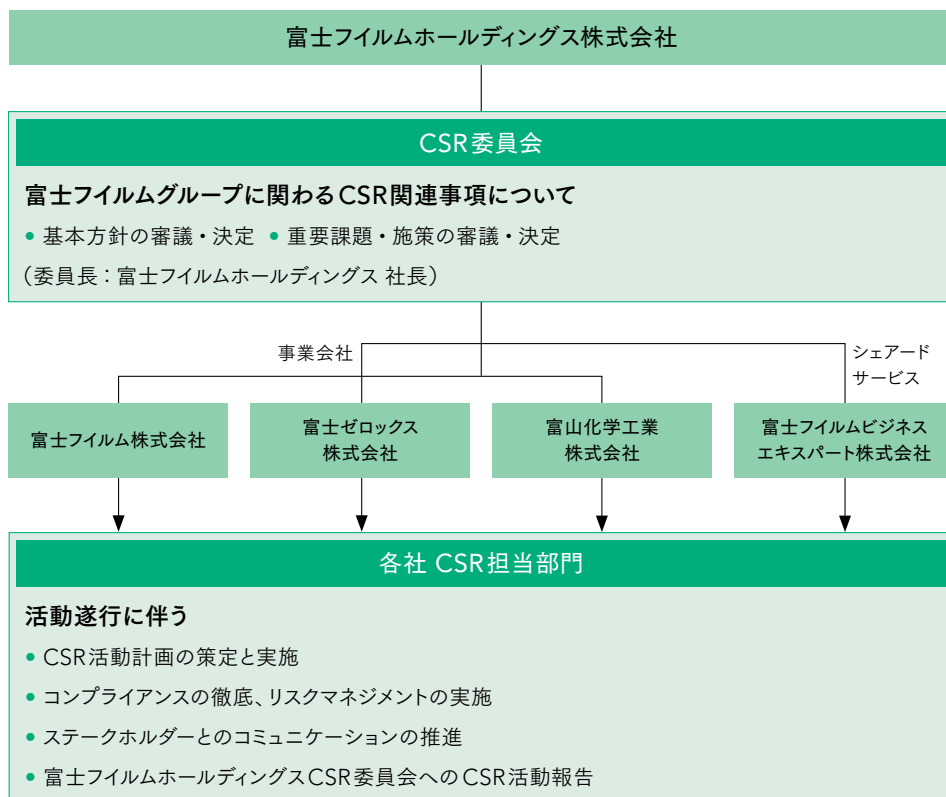


CSR推進体制

富士フィルムグループは、グループ全体のCSR活動を円滑に行うために、富士フィルムホールディングス社長を委員長とするCSR委員会を設置し、グループ全体のCSR活動推進のための意思決定を行っています。CSR委員会事務局である富士フィルムホールディングスのCSR部門は、富士フィルムグループのCSR経営を徹底させる役割を担当。活動基盤整備や社外への情報開示、

ステークホルダーとのコミュニケーションの他、グループ各社のCSR活動の支援、進捗管理を行っています。

グループ各社のCSR担当部門は、CSR活動計画の策定と実施、コンプライアンスの徹底、リスクマネジメントの実施、ステークホルダーとのコミュニケーションの推進、ならびに富士フィルムホールディングスCSR委員会への活動報告等を行い、グループ全体でPDCAサイクルに則ったCSR活動に努めています。



CSR委員会事務局

富士フィルムホールディングスCSR部門

- CSRガバナンスの全グループ適用（CSR委員会決定の方針、戦略目的の展開）
- CSR委員会決定の重要課題・施策の展開と進捗管理
- 各社のCSR活動の支援（情報の収集と分析評価）
- 社会への情報開示とステークホルダーとの対話
- 全グループのCSR活動の監査

SRI銘柄への組み入れ状況・外部評価

富士フィルムホールディングスは、「持続可能な発展」に向けたCSR活動を積極的に推進している企業グループとして、社会的責任投資(SRI)の銘柄に組み入れられています。また、社外のさまざまな機関からも高い評価を得ています。

- Dow Jones Sustainability Indices (2013/14への組み入れ)
- FTSE4Good Global Indexへの組み入れ
- モーニングスター社会的責任投資株価指数への組み入れ (2014年5月現在)



評価名	富士フィルムグループの評価
第8回CSR企業ランキング 2014 (東洋経済新報社)	2位/1,210社(570.5点)
第17回「環境経営度調査」 (日本経済新聞社)	9位/製造業429社 化学石油分野7年連続1位
第7回「企業の品質経営度」調査 (日科技連)	2位/217社、優秀企業賞
2013年「人を活かす会社」調査 (日本経済新聞社)	1位/436社
CDP (Carbon Disclosure Project) スコア88 ランクB	

【中期CSR計画「Sustainable Value Plan 2016」を策定

当社は、創立80周年を機に制定したコーポレートスローガン「Value from Innovation」のもと、グループの経営の根幹となる目標として2014年度から2016年度の中期CSR計画「Sustainable Value Plan 2016(SVP2016)」を策定、活動を開始しました。

本計画では、「環境」、「健康」、「生活」、「働き方」を重点4分野と定め、革新的な製品・サービス・技術を通じて、関連する11項目の社会課題の解決に取り組みます。また、これまで当社がCSR活動として注力してきた、事業プロセスにおける環境課題への積極的な取り組みを継続して推進するとともに、企業活動を支えるCSR基盤についてもバリューチェーン全体にわたりワールドワイドで強化・展開していきます。

当社グループは、社会課題解決のための「新たな価値」創出に積極的に取り組むことによって、“持続可能な社会の発展”に貢献する企業を目指します。

CSRの取り組みについて、詳細は以下も合わせてご覧ください
<http://www.fujifilmholdings.com/ja/sustainability/index.html>

FUJIFILM Sustainable Value Plan 2016

